

News Release

2017年6月28日
株式会社日立製作所

アンサルド STS 社がイタリアの鉄道インフラ管理会社から信号・運行管理システムの機器に関する技術支援・保守サービスを約 125 億円で受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:Andy Barr)は、イタリア共和国(以下、イタリア)の鉄道インフラ管理会社であるレーテ・フェットロヴィアアリア・イタリアーナ(Rete Ferroviaria Italiana/以下、RFI)から信号・運行管理システムの機器に関する技術支援・保守サービスを 1 億ユーロ(約 125 億円*)で受注しました。

契約範囲は、RFI の路線に納入したアンサルド STS 社の機器の技術支援・保守サービスと修理および設定変更とシステムアップデートです。契約期間は 2 年間で、詳細は以下の通りです。

- ①RFI の路線に納入した機器の技術支援・保守サービスおよび修理。
- ②RFI の路線に納入した機器の設定変更およびシステムアップデート。

これらのシステムは、RFI の在来線および高速線を含むイタリア各地の主要路線で導入されています。

アンサルド STS 社は、RFI の鉄道システムの改修を通して、乗客および地域社会全体の安全性の向上に貢献します。

* 1 ユーロ=125 円で換算。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
